



PDA 即興型英語ディベート 全国中高教員向け即興型英語ディベートワークショップ 2026

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2026年2月28日（土）10:00-16:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：教員8名

ジャッジ：PDA スタッフ

授業に導入可能な形式の即興型英語ディベートについて、実践を通して学ぶオンライン・ワークショップが開催されました。本年度は全4セッションで構成され、「ディベートワークブック1・2・3」を教材として使用し、参加教員がディベートおよびジャッジを実践した後、教材内容に沿ったワークに取り組みました。

冒頭ではルールの確認が行われ、ディベートの基本ルールの共有に加え、POI（Point of Information）の練習が実施されました。実際のディベートにおいてもPOIを取り入れながら議論を深めました。また、ジャッジチームのコメントを待つ時間には、授業への導入方法やディベート授業の実施に関する意見交換が行われる様子も見られました。ジャッジとして参加した教員からは、他のジャッジのコメントを聞くことで、議論の整理方法や伝え方について新たな気づきを得られたとの感想が述べられました。

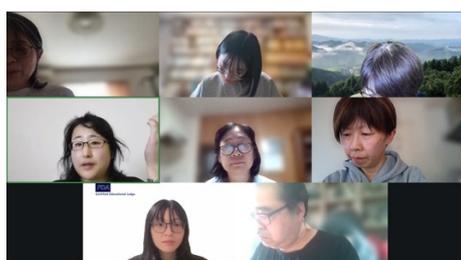
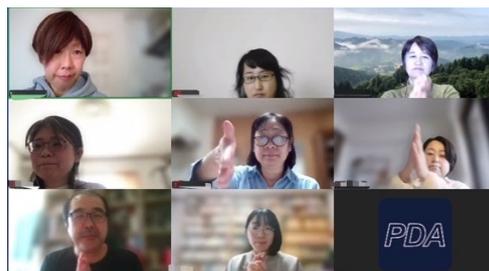


POI の練習

ディベートおよびジャッジによるフィードバック終了後には、AREAの構成、反論の方法、トピック解説など、授業で導入しやすい形式のワークが実施されました。参加教員からは、生徒の立場を疑似体験できたとの声が聞かれ、自身の授業への活用方法について教員同士で共有する有意義な時間となりました。



ディベート後の握手



ジャッジコメントの様子



ディベート後の握手

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・複数の論題についてディベートできる機会はなかなかないので良かったです。ありがとうございました。
- ・ディベート実践練習ができただけでなく、各ラウンド後の論題についての補足説明も大変勉強になりました。どうもありがとうございます。
- ・とても頭を使いましたし、自分の不勉強さを振り返る機会でもありました。頑張っておられる皆さんご一緒できて良かったです。
- ・わたし自身 2ヶ月前から部活動の指導でディベートを始めました。身近な話題から社会的な話題まで、実際のディベートに挑戦することができ、貴重な経験をさせていただきました。一緒にディベートさせていただいた先生方大変刺激をいただきました。運営の方も、私たちの疑問に寄り添ってくださったことが嬉しかったです。ただ、初心者のわたしにとって、今回の研修はかなりハイレベルに感じました。初心者向けの研修があればまた参加したいです。
- ・毎回そうですが、ディベートが体験できることと他府県の先生方とディベートを通して交流できることが良かったです。